

進もう、豊かな畜産の未来へ

公益社団法人

中央畜産会

JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION



RECRUITMENT INFORMATION



公益社団法人 中央畜産会
会長 森山 裕

中央畜産会は昭和30年の設立から今日まで全国の畜産会組織とともに、畜産に関する技術及び経営指導の中核的な組織として、我が国の畜産の発展とともに歩んできました。

この間、経済変動、国際化、家畜疾病の発生、気候変動など環境が変化する中、我が国の畜産も大きく変化してきました。このような時代の変化に柔軟に対応し、畜産経営者の皆様に貢献することが、私どもの責務であると考えています。

そして、今後の新たな課題は、食料安全保障やカーボンニュートラルへの対応です。この課題に取り組まなければ、国民の食生活を支える産業として更なる成長を果たすことは出来ません。

皆さんは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で学生生活では色々な制約を受け、大変な時代を過ごされたかと思います。

これからはご自身の個性や力を大いに発揮し、ひとつひとつの仕事に対して、丁寧にかつ意欲をもって取り組んでいただくことが、当会、そして我が国の畜産にとって大きな力となります。

豊かな畜産の未来に向かって共に進んでいきましょう。

中央畜産会の役割

日本の畜産が抱える課題



高齢化



自給率
向上

飼料高騰

家畜疾病
の発生

省力化

担い手
不足



農林水産省ほか

- 畜産生産の基盤維持及び強化に必要な機械の導入や施設整備などを支援
- 酪農・肉用牛経営の省力化のため、ロボット・AI・IoT等の先端技術の導入を支援
- 家畜伝染病の発生に際し、発生予防及びまん延防止対策の徹底にむけた農場等の取組を支援
- 酪農・肉用牛経営等への参入を希望する多様な方々に対し、就農促進に向けた支援を実施
- 牛肉を始めとした輸出重点品目について、生産から販売までをオールジャパンで行うなど輸出力の強化につながる取組を支援

…など

公益社団法人

中央畜産会

日本の畜産業の
振興と発展のため
様々な施策を
実行しています

- 都道府県
- 全国の畜産会組織
- JA …等

部署の紹介

衛生指導部

畜産物の生産性を向上させるため、家畜疾病の予防や生産現場への衛生指導、衛生技術の向上のための研修会等を開催しています。
また、農場HACCP認証にも取り組んでいます。

経営支援部

支援・調査、情報、事業推進の3つの部署で構成されており、畜産経営指導及び支援活動や畜産に関する情報収集と提供、畜産・酪農の収益力向上等のために機械導入の支援を行っています。

資金・経営対策部

負債を抱えた農家の負担の軽減や経営改善指導等を実施しています。また、家畜伝染病の発生により影響を受けた農家の経営再開等に必要な資金及び家畜飼料購入資金に係る利子補給業務を行っています。

管理部

企画調整、総務、経理、情報システム管理室、施設・機械部会担当に分かれています。
企画調整では、畜産関係団体との連絡調整、総務では人事や労務管理、情報システム管理室は会内の保守等、当会の運営と会員へのサービスを行っています。

育てる 畜産経営者や指導者の育成

- ・畜産経営者や指導者を対象としたスキルアップのための研修会を開催
- ・総括畜産コンサルタント、農場HACCP審査員の資格付与、農場HACCPの認証
- ・地域の中核的な担い手育成のための研修会を開催
- ・高校生を対象にした、獣医師養成のための修学資金を給付



支える 畜産経営の支援

- ・経営診断の手法づくりと指導マニュアルの作成
- ・全国の畜産経営の実態調査と経営指標づくり
- ・畜産経営の規模拡大、省力化・機械化を支える畜産施設・機械導入の支援
- ・経営に必要な資金調達や低利の借換資金の融通による経営改善支援
- ・家畜伝染病発生時の経営再開支援や甚大な自然災害の復興支援



守る 家畜防疫の推進

- ・地域一丸となった家畜防疫活動の推進
- ・家畜伝染病に備えた防疫演習の実施
- ・飼養衛生管理基準の徹底や家畜に対するワクチン接種の推進
- ・農場衛生対策の支援
- ・馬の伝染病対策の支援



広める 畜産に対する情報発信

- ・優れた畜産経営の表彰・成果の普及
- ・出版物やインターネットによる最新の畜産技術や畜産経営の紹介
- ・畜産をわかりやすく紹介する映像の制作
- ・国産畜産物の国内外へのPR活動



主な業務

農林水産省から公表された「畜産農場における飼養衛生管理向上の取組認証基準（農場HACCP認証基準）」に従って、申請があった農場に対して審査を行います。その審査結果を基に、農場を認証し、公表しています。

また、農場HACCP認証の適正な実施や普及推進を図るため、実際に審査を行う審査員や構築指導を行う指導員の養成や力量向上のための研修を開催しています。



どんな職場ですか？

老若男女、上司部下等が分け隔てなく、フレンドリーな雰囲気、自由に活発な意見交換ができています。



衛生指導部
参与 Yさん
農場HACCP審査員

主な業務

畜産経営コンサルテーション業務や総務・経理業務に携わる全国の畜産会職員のスキルアップを図るため、経験に応じた段階別の研修会を実施しています。

また、畜産コンサルタントとして一定の経験・年数を経過した人を対象に、畜産経営支援活動のリーダー役となる総括畜産コンサルタントの資格を付与する資格試験を実施しています。



やりがいは何ですか？

研修の内容に自分の意見が反映され、受講生からの反応が良かったときや、研修を通じて全国に仲間ができることにやりがいを感じています。



経営支援部
(支援・調査)
調査役 Mさん

業務概要

家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、国家防疫措置に併せて、地域における防疫演習、慢性感染症対応、馬伝染性貧血防疫等の自衛防疫活動を推進しています。

主な業務

高病原性鳥インフルエンザや豚熱など重篤な伝染病が発生した際には、迅速な防疫措置により、地域へのまん延を防ぐことが重要です。そのため、実際の発生を想定し、都道府県、市町村、畜産団体、獣医師、農家等の地域の関係者が広く参加する防疫演習を実施することで、自衛防疫体制の強化を図ります。

また、各地域での防疫演習の取組状況を共有することで、より効果的な防疫対応が行えるよう、事例集を作成しています。



自衛防疫を強化することは、家畜の伝染病から農家や家畜を守ることに繋がります。



衛生指導部
参与 Nさん

主な業務

畜産経営や畜産会関係組織が協力しあい、地域全体で畜産の収益力を高めていこうという畜産クラスターの全国的な推進に取り組んでいます。

優良事例の調査や畜産クラスターを推進していくためのコーディネーターの養成、経営指導に活用するための経営指標づくり等を行い、調査は全国の畜産会組織が実施し、当会は調査内容の検討や調査結果の集計・分析等を行っています。

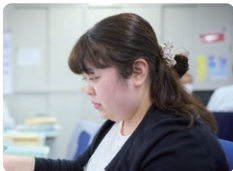
支える



畜産経営データの蓄積

全国合計**2,600**戸

直近5年分



経営支援部(支援・調査) 技師 Oさん

どんな職場ですか？

女性職員も多く在籍しており、休みやすい制度と体制が整っていると思います。

主な業務

畜産特別資金は、負債の償還が困難となっている畜産経営を支援するため、償還に必要な額を長期・低利の畜産特別資金で借換えることで、利子負担の軽減を図ることを目的としています。経営改善指導を受けながら経営改善を進める制度で、低利な貸付利率とするために融資機関に対し利率引下げに必要な利子補給金を交付します。

支える



農家への低利融資支援
(融資機関への利子補給金の交付)
利子補給金交付対象融資案件数

627件

融資残高264億円
令和4年度末



資金・経営対策部 技師 Kさん

やりがいは何ですか？

畜産特別資金を活用して経営を立て直した事例を伺った時はやりがいを強く実感しました。

📄 畜産総合専門誌・映像の制作

主な業務

月刊誌「畜産コンサルタント」は、国内唯一の畜産総合専門誌として年間72,000部を発行しています。掲載内容の企画・編集のほか、全国各地に取材に行き、グラビア記事等の作成もしています。

映像事業では、撮影・編集する動画の内容について企画立案から映像制作会社の選定、各地現場でロケ撮影の立会い等を行い、分かりやすい映像作品作りを心掛けています。

広める



月刊誌畜産コンサルタント
(国内唯一の畜産総合専門誌)

年間発行部数**72,000**部

創刊昭和40年1月

広める



畜産に関する映像制作

累計**150**本

直近5年分

やりがいは何ですか？

畜産情勢を分かりやすく伝えることと、取材したテーマが雑誌という形に残ることにやりがいを感じます。



経営支援部(情報) 技師 Kさん

🏆 全国優良畜産経営管理技術発表会

全国優良畜産経営管理技術発表会

全国の畜産会組織が年間延べ約1,550戸の生産者に対して支援・指導活動を実施するなかで明らかになった各地域の優秀な経営が参加し、経営成果の発表と表彰を行う行事です。

主な業務

畜産会組織から推薦された畜産経営について、全国の専門家による審査委員会の開催など、本発表会の運営を行っています。

広める



農林水産祭参加行事
全国優良畜産経営管理技術発表会
表彰事例

累計**330**事例

昭和61年度～令和4年度

どんな職場ですか？

若手社員が増えたのに併せて、人材育成のための環境が整ってきていることを実感します。



経営支援部(支援・調査) 技師 Hさん

キャリア形成

主な業務

経理部門の部長として統括管理をしています。
当会は公益法人として補助金を扱っており、経費の収入・支出の管理のほか、日々の進捗管理を各事業担当者や役員と連携を取りながら行っています。

やりがいは何ですか？

日々の経理業務の集大成といえる決算報告を終えたときは、仕事のやりがいとともに達成感を感じます。



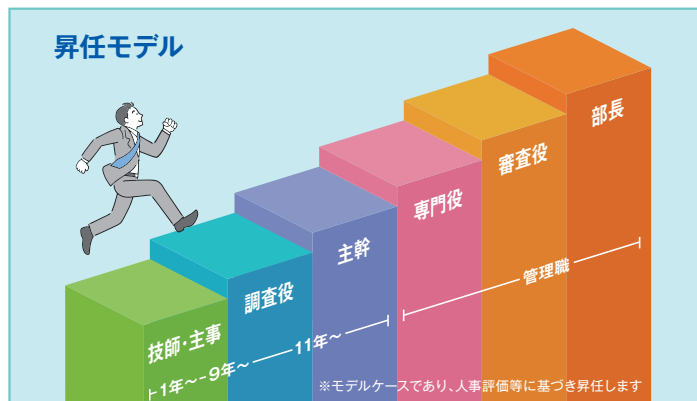
管理部(経理) 部長 Nさん

私のライフ & キャリア



昭和61年に入会し、平成8年に結婚、2年後に妊娠・出産、育児休業を経て平成11年に職場復帰をしました。1人目の出産から6年後に2人目を授かり、2度目の育児休業後は育児と仕事の両立に大変苦労したことを覚えています。
平成22年に経理に配属されてから主幹、審査役を経て、令和5年に部長に任命されました。
今は管理職という責任ある職務をいかに全うするか挑戦の毎日ですが、部下や同僚と協力しあいながら、円滑に業務が推進されるようにサポートしていきたいと思っています。

昇任モデル



研修について

入会してすぐ

- ・ビジネスマナー研修
- ・コミュニケーション研修
- ・新任基礎研修(基礎編)
中央畜産会および全国の畜産会組織に入会した新任職員を対象に、畜産会組織の成り立ちなどを学びます。
- ・職員研修(基礎編)
新任職員を対象に畜産に関連する基礎知識を学びます。…等



2年目以降

- ・職員研修(応用編)
畜産経営分析のノウハウ等を学びます。
- ・経営指導従事者研修
新任者層を対象に、円滑な経営支援業務を行うためのロジック等を盛り込んだ実践研修を行います。
- ・海外畜産事情研修
EUにおける畜産経営に対する支援指導活動の実態や方法等について、現地研修を通して知見を広げます。…等



畜産に関する知識をほとんど持っていなかった私でも分かりやすく、毎週畜産の情報と知識を更新しながら勉強しています。

研修によって、普段行っている業務が全国の現場でどう活かされているのかイメージが明確になるだけでなく、全国の畜産会組織の皆さんと交流できるため、各地域で異なる畜産事情などを伺うことができ、大変勉強になります。



ワークライフバランスに応じた休暇制度

子育てや介護などのライフイベント等に応じた働き方ができるよう休暇等の制度を設けています。

産前・産後休暇 産前6週間前(多胎妊娠の場合は14週間前)から産後8週間まで	配偶者出産休暇 妻の出産に伴う入退院の付き添い等のため(3日)	出生時育児休業(産後パパ育休) 子の誕生日又は出産予定日のいずれか遅い方から8週間以内に4週間まで(2回まで分割可能)
育児参加のための休暇 妻の産前産後期間中に生まれてくる子又はその期間中に未就学児を養育するため(5日)	育児休業 子が3歳に達するまでの期間内	子の看護休暇 子の小学校就学まで1人につき年5日(2人以上の場合は年10日)
養育時間 子の小学校就学まで1日2時間まで	育児短時間勤務 子の小学校就学まで1日の勤務時間を2時間短縮	介護休暇 要介護状態にある家族1人につき年5日(要介護者が2人以上の場合は10日)
介護休業 要介護状態にある家族1人につき通算6か月まで(3回まで分割可能)	介護時間 要介護状態の家族の介護のため連続3年の間で1日2時間まで	介護短時間勤務 要介護状態の家族の介護のため利用開始から3年の間で2回まで勤務時間を2時間短縮

1日のスケジュール

8:10	家を出る
8:30	保育園預け
9:20	入社
9:30	メールや郵便物等のチェック
12:00	昼休憩
12:45	書類等の確認・進捗状況の確認
16:30	退社
17:45	保育園お迎え
18:30	帰宅

産前・産後休暇と育児休業を利用しました!

産前産後休暇と育児休業を経て約2年間職場を離れて令和4年4月に時短勤務で復帰しました。復帰後、「お母さんの代わりはいない」「気負わず、仕事は及第点を」と育児を経験した先輩たちからのアドバイスを受け、子供の成長とともに少しずつ仕事との両立に努めています。



経営支援部(事業推進)
技師 Kさん

応募資格はありますか?

令和7年3月までに大学卒業見込み、及び大学院修了見込みの方を対象としております。学部・学科等は不問で、日本の畜産の発展に意欲のある方を募集しています。

配属先について教えてください。

最初の配属先は、本人の適正や会社全体の業務等を考慮して決定します。入会後は年に1度、面談等で希望を聞く機会を設けています。

転勤はありますか?

事務所は東京都内1か所だけなので、転勤はありません。

よくある質問

さらに詳しい情報はこちら





公益社団法人中央畜産会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F
Tel:03(6206)0840(代) Fax:03(5289)0890

<https://jlia.lin.gr.jp>

